



港南中だより

令和6年2月号
港区立港南中学校
2023年は60周年



校長 佐々木 希久子

あいさつ 親切 感謝

2月は「ふれあい月間」「いじめ防止強化月間」でした。そのための取組の一つとして2月5日の全校朝礼で生徒の皆さんに「あいさつ」「親切」「感謝」を大切にしようという話をしました。即日から、生徒のあいさつの声が大きくなり、また、会釈をする動作もはつきりとなりました。大変嬉しい一か月でした。そこで、3月になっても続けてほしいと思います。よろしくお願いします。

何度か話していますが、あいさつはコミュニケーションの第一歩であると同時に、「あなたとコミュニケーションをとりたい」という意思の表明です。従って、はつきりと大きな声で、さらに笑顔であいさつをするという行為は相手に安心感を与えることとなります。何より自分自身も気持ちいいですね。ぜひ、続けていってください。

「親切」についても何度も話しています。他者が困っていたら助けてあげる。それはどんな小さなことでもよいのです。おせっかいでもいいのです。困っている人を見かけたとき、進んで助けるという行為は少し恥ずかしかったり勇気が要ったりすることかもしれませんが、だからこそ、他者に親切にするという行為は価値のあることとも思います。今日、何人に親切にできたか、1日の終わりに数えてみるのもよいでしょう。

「感謝」。言わずと知れたことです。わたしたちは皆繋がっていて、誰も一人だけの力で生きている人はいません。そのことを理解したとき、自ずと感謝の心が生まれるものです。「ありがとう」と伝えましょう。

人権標語

12月10日の世界人権デー、人権週間の機会を中心に人権について学びました。学習の最後の締めくくり人権の大切さを伝えるための標語を作成しました。ほんの一部ですが、紹介します。

○みにくいよ 差別をしている 私たち	○性じゃなく 個性でみてよ 人のこと
○人間の 思いを束縛 NGだ	○怖くない 支えてくれる 人がいる
○同性だって 好きになるのは 同じ“人”	○自分事 その考えで 変わる未来
○おかしくない 人の数だけ 個性ある	○みんなでつくろう 個性の輪
○笑ってても 心の中では 笑っていない	○誹謗中傷、言葉のナイフ
○“普通じゃない。” そんな言葉は 苦痛じゃない？	
○聞こえてる？ クラスメイトの SOS	○「大丈夫。」ほんとにそれは 大丈夫？
○おかしくない あなたの個性 あなただけ	○「普通」じゃないってかっこいい

港南中では伝統となっている、3年生の代表者が1、2年生の教室を訪れ、自身が調べた人権に関するプレゼンテーションを発表するという学びの場を設けています。1、2年生は先輩から教わる人権問題を真剣に聞き、これまで知らなかったこの社会にある問題を知って自分自身もいろいろと考えるところがあったようです。

学校では、いじめやいやがらせ、からかいなど、たとえ、軽い気持ちであったとしても、他者を苦しめることは絶対にしないということを日常的に生徒に伝えています。しかしながら、守られないこともあります。そんなときには、ぜひ、大人に相談してほしいと思います。「相談しても無駄」という思いもあるかもしれませんが、わたしたち教職員も生徒一人一人を守るよう、生徒の出す SOS に気付けるよう努めています。

他者と接する際、一人一人が想像力を働かせて自分と異なる人の立場になってみることを、自分も周囲も笑顔にすることを心がけていくことが自他の人権を尊重する行為につながります。各自が考え、対話(しゃべり続ける)し、行動していくことを港南中生にも望みます。